

防災訓練を実施しました。 平成22年9月1日（水）



1923年（大正12年）9月1日に起きた関東大震災の教訓を忘れないようにということで、「防災の日」が設けられました。本校では、生徒・教職員約650名が参加して、地震が発生したという想定の下で、防災訓練を実施しました。



いかに安全に迅速に避難できるかの訓練でした。新校舎前の駐車場に、全学年が避難しましたが、早いクラスで1分少々、一番遅いクラスでも4分少々で避難を完了しました。ほとんど私語もなく、人員点呼もスムーズで、評価は高いでした。



中央消防署員の方から、「地震は、発生後1分から2分で、おさまることが多いので、その後、避難すると安全である。」「地震は、予防することはできないので、被害に遭わないように日頃から訓練や準備をしておくことが大切です」という話がありました。

